

川中島の戦い ～制作日誌～



3年B組

鈴木順夫

2013.05.26

朝、新宿から小田急線の特急「さがみ号」に乗って小田原まで行った。まだテーマしか決まっていない段階だったので、半分取材、半分休日余暇のつもりで行った。小田原の北条氏については、川中島の戦いとは直接関係してはいないが、後で必要になるかもしれないと思っていた。



小田原駅から歩いて小田原城へ行った。入口から少し入ったところに「小田原城歴史見聞館」があったので入館した。北条氏と小田原城の歴史のほかにも、上杉氏や武田氏に関わる資料があったので、収穫はあった。その後、天守閣に登った。研究に関する行動はここまでで、昼食を食べてお土産を買った後、JR 湘南新宿ラインに乗って家に帰った。

2013.07.08

広尾にある東京都立中央図書館へ行った。本の貸し出しはしていないので、本を借りることはできないが、必要な資料はコピーを取ったり、メモを取ったりした。コピーを取った資料は、「戦国大名武田氏の信濃支配」のみで、「川中島合戦再考」、「武田信玄の古戦場をゆく」の本文の一部をメモした。



2013.07.25

夏休みに入った。この日の午後、都立中央図書館にもう一度行った。前日の夜に、閲覧する本を調べてリストをつくっておいた(右図)。探す本が多かったので3時間く

らい図書館にいた。前回同様、必要な部分についてはコピーを取った。主に歴史の資料があるのは3階で、複写(コピー)の申請をするのが1階のカウンターなので、何度も往復するのが少し大変だった。

- 1.戦国大名勢力変遷地図：カラービジュアル版 / 外川 淳 / 著 / 日本実業出版社, 2013.1
- 2.戦国大名武田氏の役と家臣 / 柴辻俊六 / 編 / 岩田書院, 2011.11
- 3.戦国大名武田氏と甲斐の中世 / 磯貝正義先生追悼論文集刊行会 / 編 / 岩田書院, 2011.9
- 4.戦国大名武田氏の権力と支配 / 平山 優 / 編 / 岩田書院, 2008.12
- 5.諏訪大社と武田信玄：戦国武将の謎に迫る! / 武光 誠 / 著 / 青春出版6社, 2012.10 (青春新書 INTELLIGENCE; PI-373)
- 7.武田信玄と松本平 / 笹本 正治 / 著 / 一草舎, 2008.9
- 8.新編武田信玄のすべて / 柴辻 俊六 / 編 / 新人物往来社, 2008.6
- 9.信玄の戦略：組織、合戦、領国経営 / 柴辻 俊六 / 著 / 中央公論新社, 2006.11 (中公新書; 1872)
- 10.武田信玄の古戦場をゆく：なぜ武田軍は北へ向かったのか? / 安部 龍太郎 / 著 / 集英社, 2006.11 (集英社新書; 0365)
- 11.武田信玄を歩く：歴史の旅 / 秋山 敬 / 著 / 吉川弘文館, 2003.8 (歴史文化ライブラリー; 160)
- 12.武田信玄「謎」の解説：川中島合戦一騎討の真実 / 馬場健明 / 著 / 歴史研究会出版局, 2000.7 (歴研ブックス)
- 13.長野県の武田信玄伝説 / 笹本 正治 / 編 / 岩田書院, 1996.8
- 14.新編上杉謙信のすべて / 花ヶ前 盛明 / 編 / 新人物往来社, 2008.5

2013.07.26

2度図書館へ行って、資料もだいぶ集まったので詳しい構想を練ることにした。まず、上杉謙信と武田信玄の説明をし、川中島の戦いのきっかけともいえる信玄の信濃侵攻について書くことにした。

2013.07.27

ひとつおりの資料は集まったといえど、すべて本のコピーだったので、書籍を1冊か2冊は持っておいた方がよいと思い、書店に行った。家から自転車で池袋駅の駐輪場まで行き、西武デパートの中にある「リブロ」という書店へ行った。しかし、川中島の戦いについて詳しく書かれた本はあまりなく、その中でも良さそうだった「武田・上杉・真田氏の合戦」という本を購入した。その後、すぐ近くにある「ジュンク堂」にも行ったが、結局買ったのはその1冊だけだった。

2013.07.28・07.29

前日から長野県松本市にある祖父母の家に来ていた。この2日間、まず仮第1章 上杉謙信と武田信玄 について下書きを始めた。書き出しが難しかったが、少し書けば慣れてきて、意外と筆が進んだ。仮第1章の下書き・修正は全部で4時間ぐらいで終わった。

2013.08.01

朝8時台の電車に乗り、祖父母の家がある村井駅から、親戚の家がある篠ノ井駅に向かった。駅に着いたら、おじが車で迎えに来てくれたので、一度家に向かった。史跡巡りのコースを考え、午前10時ごろ、再び車で出発した。

最初に向かったのは雨宮の渡しだった。続いて、妻女山、謙信槍尻の泉、八幡原史跡公園へ行った。長野市立博物館に入った後、午後3時ごろ昼食を取り、典厩寺、勘助の墓、広瀬の渡し、勘助宮、胴合橋へ行った。海津城は以前に何度か行ったことがあるので、今回は通過した。





2013.08.02

朝 9 時くらいに車で家を出発して、上田方面に向かった。戸倉のあたりで右折し千曲川を渡り、千曲市城山史跡公園(荒砥城)に向かった。



荒砥城は、すべて再建されたものだが中世の山城の雰囲気があつて良かった。また、小屋の中には少しだが資料展示もあつた。

その後、坂城町へ向かい、村上義清居館跡、葛尾城の入り口まで行った。葛尾城の本丸までは、往復 2 時間の登山で、時間の都合上、行くことができなかった。最後に、去年も訪れた「坂木ふるさと歴史館」で村上氏の歴史や、村上義清と川



中島の戦いのことについて資料を見てまわつた。入口の売店に「川中島の戦いと北信濃」という本があつたので買った。

篠ノ井に戻つた後は、長野駅から新幹線「あさま号」で帰京した。

2013.08.04～08.07

帰京してから、本格的に下書きを始めた。仮第 2 章 武田信玄による信濃侵攻の下書きを書き終えた。

2013.08.14～08.18

8 月 8 日から 8 月 13 日までは労作展を進めることができなかったもので、14 日から再開した。仮第 3 章 川中島の戦いへ の下書きを書き終えた。ただし、仮第 1 章については、他の章と関連がないことなどから不必要となつたので削除した。

2013.08.16

再度、都立中央図書館に行った。探す本は「信濃路の風林火山」、「信州の古城」、「縄張図・断面図・鳥瞰図で見る信濃の山城と館」だけだったので短時間で終わった。それぞれ必要な部分だけコピーを取つた。

2013.08.24～08.28

下書き作成に行き詰ったので、今までに書いた下書きを清書することにした。また、第1章 武田信玄による信濃侵略 には1-5を付け加えた。まだ書いていなかったはじめにも下書きをし、原稿用紙に清書した。

2013.09.06～09.09

第3章・第4章を制作した。時間に余裕がなくなっており、1日当たり平均5時間のスピードで取り組んだ。第3章は途中まで下書きしたが、書いているうちに考えがまとまってきたので下書きは止め、清書に移った。第4章は下書き無しのぶっつけ本番で書いた。9月9日の午後9時ごろには、論文が完成し製本した。最後の3日間はとても大変だったのでそのぶん達成感があった。

論文が完成したので、資料編の制作に取り掛かった。google マップで航空写真を印刷し、近くのコンビニで何枚もカラーコピーした。コピーしたものに、マジックペンで図を描いた。他に必要な図もコピーし、9月9日の午後9時から3時間で図1から図20まで完成した。

2013.09.09

午前中は部活があったので、1時に部活動が終わってから、労作展の題目入力を行った。題名は、前日に決め、「川中島の戦い 両雄が戦った本当の理由」とした。

2013.09.10

始業式から急いで帰ってきて、資料編制作の続きに取り組んだ。午後7時には完成し、下書きもとじてすべての作品が完成した。

2013.09.11

完成した作品(計5点)を提出する。